

このお便りは、岸和田市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。



夢中で遊ぶ 「ダンゴムシ迷路」 ～ 3つの資質・能力が育つ～



岸和田市立山滝幼稚園での様子です。

「ダンゴムシの迷路」作ってみたのですが、なかなかダンゴムシがうまく進んでくれません。

すると、子どもたちは、近くに落ちていたチューリップの花びらを拾い、ダンゴムシをゴールまで誘導し始めたのです。 (①思考力・判断力・表現力の基礎)

すると・・・こんなことを言いはじめました。



「ダンゴムシは、白い花びらにはついて来たけど、赤い花びらにはついて来なかったよ。」

「本当にそうかな？
試してみよう。」



そこで、トレイに色紙を貼って、ダンゴムシには色が見えているのか試しはじめました。

結果は・・・容器の端っこの方にダンゴムシが集まっていて・・・あれれ？
「ダンゴムシは、目が付いていないんじゃないかな？」と話していたその時！

「えっ、違うよ！ぼく、図鑑で見たもん。ダンゴムシには、ちっちゃい点々みたいな目が付いてるんだよ！」と図鑑を持ってきました。 (②知識・技能の基礎)

「わあ！本当だ！」「すごいちっちゃい目だね」とみんな納得。

さらに図鑑には、「ダンゴムシがジグザグに進む」と書いていたので、タブレットで動画を確認すると・・・

「敵から逃げるためにジグザグに進むこと」

「失敗することもある」ということもわかりました。

感動とともに、ダンゴムシへの興味関心が深まり、

「よおし、次はもっとすごい迷路をつくるぞー！」と意気込む子どもたちでした。 (③学びに向かう力・人間性等)



保育を観るとき、子どもが**夢中になる姿**に注目してみてください。そこには、子どもの願いや試行錯誤、達成感や満足感が見られます。**夢中になって遊べる子は、夢中になって学べる子**だと思います。

子どもの夢中をつくる手だては、子どもの発達によって違いますが、どの校種でも大切な視点だと思います。